

## ～夏のイベント報告書～

7月17日(月)にYA すたっふ企画の夏のイベント、『GO TO THE FUTURE』が開催されました。

さまざまな仕事をしている講師を5名お招きして、第1部では仕事の話や学生時代の話聞くトークイベントが、第2部では小さな車座を作って講師対少人数で直接質問をする時間がありました。

「親や学校の先生とは一味違う大人の人たちと接することが新鮮で面白かった」という声を沢山いただきました。会場が和気あいあいとした雰囲気であって、YA すたっふ一同とても嬉しかったです。

大変な暑さの中、ご参加くださった皆様ありがとうございました。

来年度の夏のイベントもお楽しみに！

YA すたっふ&くにたち図書館 夏のイベント企画 ～社会人と進路や勉強の相談をしてみよう～

# GO TO THE FUTURE

参加者の皆さんから  
たくさんの感想を  
いただきました！



普段は関わらない方々とお話できて新鮮だった。そして人生の先輩から色々アドバイスをもらえて安心した。

講師のみなさんのお話を聞いて自分の中で大人のイメージが広がりました。

様々な方の意見を聞くことができ自分の進路等を考えるきっかけになって刺激になりました!!

「仕事」への理想と現実とのギャップが少しは埋まった気がします。

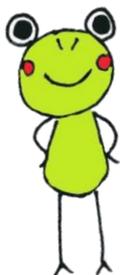


夢や働くということがとても漠然としていて、将来に対して不安があったけれど、今回講師の方々のお話を聞いて、漠然としていたものが少しくリアになった。

# 『記憶を消して もう一度読みたい本』

古本リユース事業を中心とした、「本と人とをつなぐ」活動をしている一橋大学公認サークル チーム・えんのしたのメンバーが YA 世代にオススメの本を紹介しています。メンバーが作成した POP を手掛かりに読んだことのある本でも、記憶を消して新たな気持ちで読んでみませんか？

チーム・えん  
のした  
presents



『ハーモニー』伊藤計劃／著 早川書房 2014.8

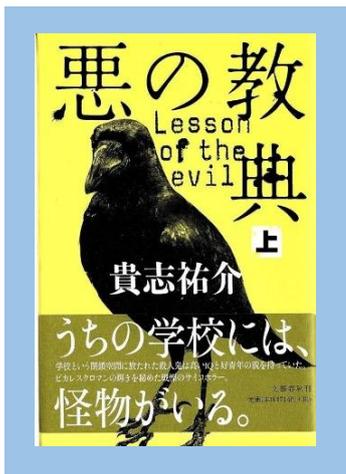


夭折の作家・伊藤計劃の遺作である、近未来の世界が舞台の SF 作品です。

そこは、世界的な戦災と疫禍を経て、あらゆる人が医療分子を体内に埋め込み、お互いの健康や幸福を思いやる優しさに満ち溢れた社会。そうした社会に対する気持ち悪さや拒否感を抱く三人の少女による小さな反抗から物語は始まります。

成長した主人公・霧慧トアンは全世界で起きた「同時多発自殺事件」の捜査のなかで、かつて亡くなったはずの友人・御冷ミアハが事件に関与していることに気づきます。エンターテインメントとしても勿論楽しめますが、社会の「正しさ」に疑問をもっている方、自由や意識といった哲学的な問題に関心がある方にもオススメです。

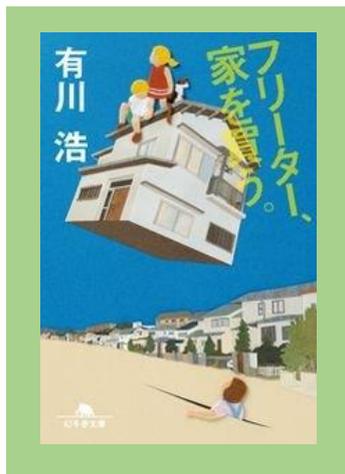
『悪の教典』貴志祐介／著 文藝春秋 2010.7



夢に見た「バラ色のキャンパスライフ」とかけ離れた現実を嘆く、大学3回生の「私」が主人公かつ語り手。主人公の生活と周辺の間人模様が、第一章から第四章まで章ごとに設定を変え、4つのパラレルワールドとして語られます。それぞれあの世界線は少し

ずつ繋がっていますが、主人公の選択の変化に伴って、出来事・人間関係はどのように変わっていくのでしょうか。独特のストーリー展開と、個性的でテンポの良い語り口が魅力的な一冊です。

『フリーター、家を買う。』有川浩／著 幻冬舎 2012.8



武誠治、二十五歳。職業、フリーター。就職先を三か月で辞めて以来、親のスネをかじって暮らす甘ったれ。どうしようもない彼が母の病をきっかけに一念発起。本当にやりたい仕事って何？幸せな家族のカタチとは？

自問自答しながら成長する主人公の姿に感情移入すること間違いなし。「頑張らなきゃって頭では分かっちゃいるけど、やる気がどうもねえ…」そんなあなたに読んでほしい、一人の男の人生奮闘記。

上記の本は、くにたち図書館に所蔵しています。貸出中の場合は、予約をしてね☆